

おだわらを拓く力
ニュースレター
Powers!

地域コミュニティ、小田原らしい 多彩なメニューで展開中!

あなたも
参加
しませんか

ケアタウン



生活応援隊(早川地区)の打ち合わせ

高齢者・障がい者・子育て家庭など、サポートが必要な人たちが地域の力で支える活動。地域包括ケアの基盤となる大切なもので、日常生活を助ける「生活応援隊」などが拡大中。

身近な公園プロデュース



酒匂中学校生徒会バージョン(酒匂の浜公園)

市内に約130ある都市公園を、身近に暮らす人たちがデザイン・手入れを行い、材料などは行政が支援する取り組み。既に10カ所以上に広がり、酒匂中学生会なども担い手になっている。

生ゴミ堆肥化

財政負担の大きいゴミを減らすべく、段ボールコンポストで生ごみを堆肥化する取り組み。地域ごとに、「生きゴミサポーター」が普及活動を行い、既に4000を超える世帯が参加。



生きゴミプロジェクトのPR活動

自主防災

災害発生時に何より必要な「身近な地域での助け合い」充実に向け、各地域で様々な自主防災活動が展開中。広域避難所(各小学校)の開設も住民主体で行われるなど、心強い。



広域避難所開設訓練の様子(豊川)

地域まちづくり組織



ミーティング風景(新玉)

自治会・民児協・地区社協・老人会・子ども会など、地域内の諸団体が課題を分かち合い、解決や活性化への取り組みを行う組織。各地区で工夫し、様々なテーマで活動中。

未来につながる学校づくり



千代小学校での米作り

市立の幼稚園・小学校・中学校における、各地域の特性を活かし、子どもたちが地域の人たちと一緒に学び育つ場。農作業、職業体験、ボランティア活動、スポーツなど様々。

この他にも、環境再生プロジェクトや里地里山事業をはじめ、今年度からスタートするコミュニティスクールなど、地域コミュニティを舞台に、小田原らしさを活かした多彩な活動が展開されています。

あなたのアンテナに触れる取り組みに参加して、活気にあふれ、皆がいつまでも安心して暮らせる小田原のまちを、共に創りましょう!



加藤市長からのメッセージ

市長に就任し7年が過ぎようとしています。この間、様々な取り組みを市民の皆さんと共に立ち上げてきました。その中でも極

めて重要であったのが、地域コミュニティの活性化です。

人口減少、急速な少子化・高齢化、絆の弱まり、担い手不足など厳しい状況にあって、小田原の場合は地域の皆さんのご理解と献身的な参画、地域に応じた工夫と熱心な活動によって、諸団体が共に課題解決に取り組む地域まちづくり組織が、26ある連合自治会区のうち21地区にまで立ち上がっています。27年度中には全地区への拡大を目指しています。

なお、国からは地方創生に向け「地方版総合戦略」策定を求められていますが、市総合計画「おだわらTRYプラン」には、まさにその骨格がすべて盛り込まれています。

今年度は後期計画を策定するので、この間の取り組み成果も踏まえ更に戦略的な強化を目指します。自信を持って、小田原の地域づくりを進めて行きましょう!

2015年初夏 加藤けんいち